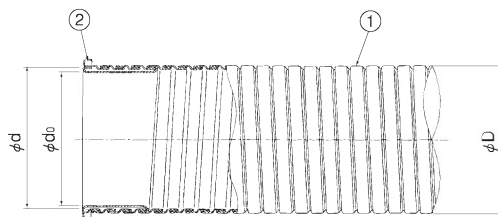


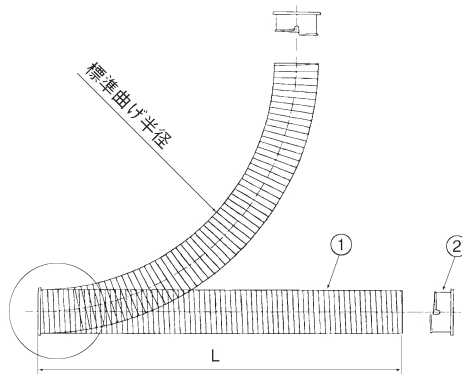
ステンレス製可とう電線管 (EP管)

仕様・特長

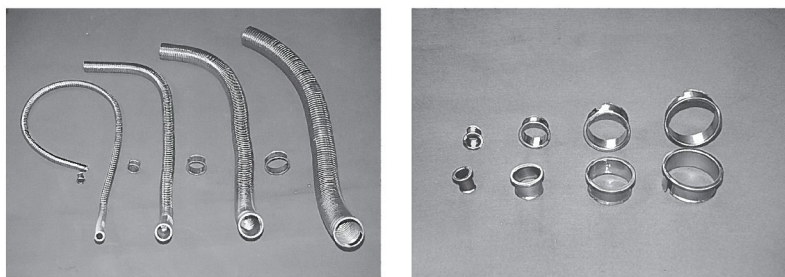
- ステンレス薄板をインターロッキング構造の管とし、可とう性と強度を持たせました。
- 地中部及び屋側部での障害物回避用の埋設管として使用します。
- 高速カッター等により容易に切断でき、現場で長さ調整が出来ます。
- 本管の両端にはケーブルの保護の為に、ブッシングを必ず取付けて下さい。但し、EP30を除く。
- 各種埋設管 (SVP管、SGP管、電線管等) や上立り管との継手も準備されております。
- ポリパッキン (PPシール) 入りの簡易防水。
- 寸法表以外のサイズは、ご相談下さい。



① EP管
② EP管用ブッシング



(注意) 1. EP管の末端には、必ずブッシングもしくは、ベルマウスブッシングを使用する事。(EP30除く)
2. EP30用のブッシング単品はありません。必ず専用の継手と一緒にご使用下さい。
3. 質量は計算質量です。



●寸法表

単位：mm

品番	種別	外径φD	内径φd	ブッシングの内径φb	長さL(m)	標準曲げ半径	質量kg/m	製品
X2001	EP30	37.5	33.0		0.5~20	200	1.2	受注生産品
X2002	EP40	45.6	40.6	37.4		250	1.3	
X2003	EP50	56.5	51.5	48.4		300	1.5	
X2004	EP80	85	80.0	76.4		400	3.0	
X2005	EP100	106.5	100.5	96.4	0.5~10	500	4.9	
X2006	EP125	144	135.0	131.4		800	7.9	
X2007	EP150	162.5	153.0	150.0		1000	9.4	

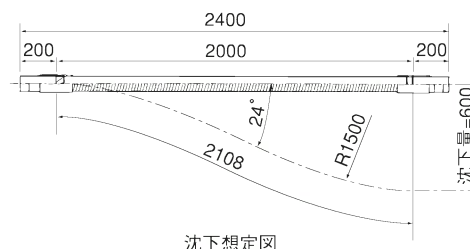
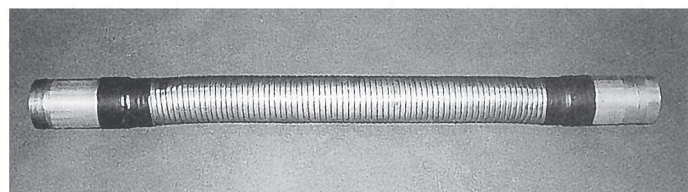
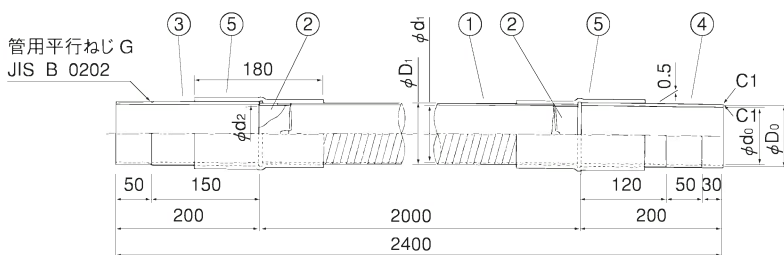
品番	種別
—	—
X1918	ブッシング40
X1911	ブッシング50
X1912	ブッシング80
X1913	ブッシング100
X1914	ブッシング125
X1915	ブッシング150

短管付きEP管

想定沈下量 0.6M以下 記号F_Mの製品です。(技術資料P.19参照)

仕様・特長

- EP管の両端に短管を取付け、沈下対策製品として接続し易くしました。対応沈下量は600mmです。
- 沈下に必要な伸び108mmは、EP管の伸びで吸収します。
- 端部は、接続方法に応じて継手付きにする事が出来ます。詳しくは、「18ページ」を参照して下さい。(注意) 標準は片側「平行ねじ」、片側「溝付」です。



沈下想定図

●寸法表

単位：mm

品番	サイズ	φD ₀	φd ₀	φD ₁	φd ₁	φd ₂	G	製品
	50	60.5	52.9	56.5	51.5	50	G2	受注生産品
	80	89.1	81.1	85.0	80.0	78	G3	
	100	114.3	106.3	106.5	100.5	98	G4	

① EP管
② ブッシング
③ ねじ付短管
④ 溝付短管
⑤ 熱収縮チューブ